

# 同窓会報

鯉淵学園同窓会  
第94号

思い出の学園銀杏並木  
(平成の内原十景)

## 同窓会長あいさつ



西村 勝夫 (22期卒)

### 会長としての重圧と責任

令和元年11月の「第34回同窓会大会」において選任された山形県出身第22期卒の西村です。

当学園の卒業生は七、七八名、全国各地に及び、農村と農業の民主化や近代化を旗印に、地域に根ざした指導的・リーダー的な立場で活躍をしてきました。

この歴史と伝統のある同窓会をどのように継続・発展させていくかを考えると大きな重圧と責任を痛感しております。

### 学園再建20年、同窓会財政悪化

ご承知のとおり、この20年間は学園の存続、再建活動が同窓会活動の重要な中心活動で、会員の皆さんに再三にわたり寄付や基金にご協力をいただきました。厚くお礼申し上げます。

その結果、会員の皆さんも学園の再建には多大の力をいたしましたが、一方同窓会への会費、寄付は年々減少し、会費納入率は20%を切る状況となり、現在事務局の運営も大変厳しい状況にあります。

新生学園支援事業を展開し、同窓会の皆さんにお願いしたいところですが、先ずは同窓会の財政の改善に力をお願いいたします。

官制から民間活力の運営へ  
学園の執行体制は長年農水省やJA全中等からの派遣等で行つてきました。  
ご承知のとおり、昨年からイセ食品(株)を中心とした民間活力中心の運営に大きく変わつてきました。

それにも国际農業コースの新設や科の名称の変更など学則の改正も行われてきました。

民間活力の運営は、スピード感があり、優れている面も多くありますが、トップの考え方によつて理事会や同窓会と違つた方向への動きがないとは限らないので、同窓会としてもしっかりと勉強して連携していく必要があります。

幸いにして、島崎学園長は同窓会を重視した考え方で、学園運営にあたつて頂いているので、充分連携を強化していくみたいです。  
学園長を中心に教職員が一丸となつて学園運営を行なうことが重要ですが、特に常務を中心とした事務・教務が将来に向かつて学園長と十分に意思疎通を図つて執行・運営にあたつているか注視していきたいものです。

### 同窓会の執行運営体制強化

同窓会の役員体制は、私を含めて高齢化が進み、人数や仕組みも変わっていません。今回の大会から常任委員を増員しましたが、今後も定数にとらわれず増やしていきたいと思います。各県の支部体制についても次の時代につなぐため、若い人を登用していきたいものです。

支部を含めて同窓会活動を活性化するためにはなんとしても予算が必要です。そのためにも永年会費、年会費の納入を再度お願い申しあげます。

# 新しくスタートした 鯉淵学園の一年



鯉淵学園農業栄養専門学校  
学園長 島崎弘幸

の周りに二万本のひまわりの花を咲かせました。文字通り、歓迎の花道で、オープニングキャンパスに参加する高校生を迎えるました。また、高校生だけでなく、同伴のご両親も一緒に楽しめるような、やさしい講演会を開催しました。丁寧な学校案内、説明会を開催しました。今年はコロナ禍で、難しい面もありましたが、密にならないような工夫をしながらの開催でした。

昨年、古木となっていた正門近くの桜を若い木に植え替えました。皆様にとって学生時代を彩る桜ですが、時代は移り、どの木も幹の中が30センチほどの大きな空洞になつて、強風で倒れるおそれもある危険な状態でした。新しい学園の象徴として、新しい桜の木を植えたのです。しかし、この春は数えるほどしか花をつけませんでした。美しい花を咲かせるには、根を張り、枝をのばし、幹に十分な力をためる時間が必要だと思います。新生／鯉淵学園も、今は、そんな日々です。花は必ず咲きます。

来春に向けて、新入生の獲得に教職員一同、全力を挙げて取り組んでいます。



全面改修した体育館

# 専門職大学移行構想の 実現に向けて



鯉淵学園農業栄養専門学校  
副学園長 長谷川量平

前号の学園同窓会報第93号でも掲載してありますように「次の70年に向けた取り組み」を種々行っています。今年度には、高等教育無償化の認定校となり、現在は企業と協働した教育を行っている証である職業実践専門課程への挑戦を行っています。両者ともに昨年度からの取り組みの果実として、本年度認定される見込みです。今般、同窓会員の皆様には、中期的な挑戦として、鯉淵学園の専門職大学化に関してお伝えしたいと思います。

## 専門職大学までの道のり

私立の専門職大学を設置するためには、キャンバス、教員組織、法人、財務状況、学生募集の見込みが大きな問題となります。鯉淵学園はもともと、50haの校地を持ち、大学にも負けないほど教員組織を持つています。しかしながら現在は公益財団法人を母体とした専修学校であり、このままでは専門職大学となることはできません。そのため、来年3月の学校法人設立申請を目指し、種々調整しているところです。

財務状況、学生募集の見込みに関しては、本年度の募集状況が大きく左右します。学生の集まらない学校を作ろうとしても失笑されるだけであり、本年度募集目標の90名以上を何としてでも達成し、健全な財務状況を見込める事業計画を作り上げようと思います。

学生の定員、学部学科の構成など検討すべき点、クリアすべき点は相当あります。必ず実現する意欲をもつて取り組んでいきたいと思いますのでご協力をお願いいたします。

際に活躍した実務家教員が4割程度在籍することが求められます。

75年の実践教育を行つて來た鯉淵学園の学風を追随するかのような設置方針であり、今後の鯉淵学園の中長期的な目標としたいと思います。

しかしながら、種々クリアしなければならないものがあり、その概略を整理するとともに、同窓会員のお力をお願いいたします。

前号の学園同窓会報第93号でも掲載してありますように「次の70年に向けた取り組み」を種々行っています。今年度には、高等教育無償化の認定校となり、現在は企業と協働した教育を行っている証である職業実践専門課程への挑戦を行っています。両者ともに昨年度からの取り組みの果実として、本年度認定される見込みです。今般、同窓会員の皆様には、中期的な挑戦として、鯉淵学園の専門職大学化に関してお伝えしたいと思います。

## 専門職大学とは

2017年5月24日の学校教育法の改正に伴い設けられたもので、既存の大学と同じ4年制（短期大学は2年制ないし3年生）ですが、特徴として、実践・実習を重視し、社会に出て即戦力となる人材を育成すべく、カリキュラムの3～4割程度は実習と定められています。教員は、博士の学位を持つ研究職員以外に、社会に出て実

## 地域の食生活を支える

栄養士を育てて 50 年



食品栄養科 副学科長 教授  
浅津 竜子  
(管理栄養士 47期卒)  
(右)客員教授  
入江三弥子 (29期卒)



オリジナル  
コットンバック



本校の栄養士養成は今年で 50 周年を迎えた。記念の企画を検討し、コロナ禍の中でできることとしてリーフレットを作成し、地域の皆さんへのお披露目と本校に入学を検討いただいている方々へのご案内をしています。

また、コットンバックを作成し、在校生と学園の見学者へ配布しています。これらのイラストデザインは、食品栄養科助手の宇佐美里子（68期卒）が担当しました。

皆様方の過ごされた時代の学園はどうのような様子でしたでしょうか。

栄養士の資格を取得して社会に貢献する・家庭にも活かす！という意欲の高い学生が多いのが現在の食品栄養科の特徴で、私も毎年入学してくれる学生との出会いを楽しみつつ、励んでいるところです。

私自身の 30 年は、たくさんの教職員や学生との思い出がありますが、今回は客員教授の入江先生とのツーショット写真をご披露させていただきます。卒業生の皆様には、今後ともご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

か？私は入学時から数えて 30 年、学園とお付き合いをしています。三年制から四年制、そして二年制に変更する裏側で、学生食堂での食事提供や学生生活を支えつつ、全寮制から希望寮制、学生食堂の学生自治会から学園への移管とその都度学校と自治会の制度やルールの見直しに関わり、今を迎えています。

栄養士養成としては「給食の運営」分野と就職指導を担当しています。現在の栄養士養成課程は、栄養士としての就職率が高く（90%以上）、社会人経験のある学生や男子学生も多数（それぞれクラスの 1/2 割）在学しています。

栄養士の資格を取得して社会に貢献する・家庭にも活かす！という意欲の高い学生が多いのが現在の食品栄養科の特徴で、私も毎年入学してくれる学生との出会いを楽しみつつ、励んでいるところです。

私自身の 30 年は、たくさんの教職員や学生との思い出がありますが、今回は客員教授の入江先生とのツーショット写真をご披露させていただきます。卒業生の皆様には、今後ともご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

## 新しい鯉淵学園農業栄養専門学校の主な教員紹介

教 授	島崎 弘幸	学園長・理学博士
教 授	長谷川 量平	副学園長・博士（農学） フードシステム

客員教授	入江 三弥子	茨城県栄養士会会长 管理栄養士
客員教授	薄井 寛	国際ジャーナリスト／国際農業論

### アグリビジネス科

教 授	大熊 哲仁	科長 園芸・野菜栽培
教 授	前嶋 智	副学科長・修士（農学） 防疫・作物保護
教 授	佐久間 文雄	博士（農学）／果樹栽培
教 授	小島 敏之	獣医学博士
教 授	高田 良三	畜産・繁殖生理 博士（農学）／畜産・養鶏
准教授	井上 洋一	博士（農業経済学） 農業協同組合論
准教授	磯野 卓司	家畜・生産加工 博士（政策）・税理士
准教授	児島 記代	簿記会計論
講 師	塩野 級	修士（畜産）／家畜衛生
講 師	平澤 朋美	有機農業
講 師	ジルニー・カムガムチヨン	国際コース担当／修士（日本語教育） 日本語・日本文化
講 師	佐藤スワバット	国際コース担当 日本語・日本文化
講 師	青木 淳	農産物加工・保健体育

### 食品栄養科

教 授	野口 貴彦	科長・博士（農学） 生化学研究室
教 授	浅津 竜子	副学科長・管理栄養士 給食管理研究室
教 授	小林 秀行	博士（農学）／食品科学研究室
准教授	若林 陽子	管理栄養士／栄養学（第一）研究室
講 師	勝山 由美	管理栄養士／栄養指導研究室
講 師	長谷川 陽子	管理栄養士／栄養学（第二）研究室
助 手	高崎 瑞穂	管理栄養士
助 手	新井 波音	管理栄養士
助 手	宇佐美 晶子	栄養士

### 農業技術センター

准教授	秋葉 勝矢	センター長／農業機械
講 師	鈴木 一広	副センター長／農業技術
講 師	田口 房男	農業実習
講 師	田山 和実	生産加工販売実習
助 手	高瀬 努夢	生産加工販売実習
助 手	篠原 由美	生産加工販売実習

## 声)) 地域を拓く鯉学卒業生の 活躍紹介



長野県佐久市 田中 智 (73期卒)

周囲の猛反対の中、自宅を担保に借金し、町工場の社長と2人で約1年間かかりましたが、遂に開発に成功しました。この事をきっかけに、北海道（ミニトマト）から沖縄（マンゴー）までの全国のJJAから新規開発の要請が相次ぎ、果菜（日本を代表するトマト、キュウリ、ナス、ピーマン：産地）、果実（桃、梨、メロン、スイカ：産



群馬県利根郡昭和村  
保坂洋子(25期卒)

今では高速道SAの直売所とは違い、通過点に教えられ、通過点の場になっています

苺を提供し続けた努力が認められ、平成20年、関越道では2番目となる野菜市場がオープンしました。野菜の品揃い、納品等すべてが一任され、仲間を集めて組織を作り、地元野菜の販売を行っています。一般的な生鮮野菜販売とは売り方の環境条件が異なりますが、生産者自ら自信の商品に適正価格を付けて販売するという高付加価値農業を目指して事業を開いた結果、上り線の業績が認められ、下り線にも売り場が設置されました。

今では高速道SAの野菜市場は一般の直売所とは違い、広い地域のお客様に教えられ、通過点でありながら交流の場になっています。

苺を提供し続けた努力が認められ、平成20年、関越道では2番目となる野菜市場がオープンしました。野菜の品揃い、納品等すべてが一任され、仲間を集めて組織を作り、地元野菜の販売を行っています。一般的な生鮮野菜販売とは売り方の環境条件が異なりますが、生産者自ら自信の商品に適正価格を付けて販売するという高付加価値農業を目指して事業を開いた結果、上り線の業績が認められ、下り線にも売り場が設置されました。

今では高速道SAの野菜市場は一般の直売所とは違い、広い地域のお客様に教えられ、通過点でありながら交流の場になっています。

令和元年度食品栄養科卒業の（長野県篠ノ井高等学校出身）田中智さんは、卒業時に東畑賞を受賞しました。また、昨年12月に行われた第16回栄養士実力認定試験では、全国受験者9,180名中、44位となり、「成績優良表彰」を受賞しました。卒業後は、JA長野厚生連佐久総合病院に就職しました。この病院には平成11年度卒業生（53期卒）の出野健明さんも管理栄養士として勤務しています。田中さんも日々の栄養士業務をしながら、管理栄養士国家試験合格を目指しています。本校卒業生達の今後の活躍に期待しています。

令和元年度食品栄養科卒業の（長野県篠ノ井高等学校出身）田中智さんは、卒業時に東畑賞を受賞しました。また、昨年12月に行われた第16回栄養士実力認定試験では、全国受験者9,180名中、44位となり、「成績優良表彰」を受賞しました。卒業後は、JA長野厚生連佐久総合病院に就職しました。この病院には平成11年度卒業生（53期卒）の出野健明さんも管理栄養士として勤務しています。田中さんも日々の栄養士業務をしながら、管理栄養士国家試験合格を目指しています。本校卒業生達の今後の活躍に期待しています。

— 3 —

学園卒業後、就農しましたが、24歳の時、協同組合塾（現存）を設立し、地域農協の合併と同時に35歳で理事に就き、現職（JA北つくば）の理事として農協経営に参画しております。

その活動の実践中、キュウリ生産者が半年間も毎晩箱詰の過労に耐えていた姿を見て、生産者に歓迎されるキュ

目 录

真に求められる機能「シンプル  
ズ ベスト」をモットー

地の殆どの選果機を考案開発し、その全てを成功させました。その開発の噂が口コミで拡大し、更新や新規導入では従来メーカーの選果機は殆ど姿を消し、弊社製「イタマーズ選果機」が全国の殆どの産地に急速普及したこと、日本の園芸生産者の過労の解消やコストダウンと品質維持を実現できました。



## イタマーズ選果機の特徴



ファーマーズマーケット

平成30年にはファーマーズ・マーケットと名前を変えて売上げも伸び、売り場面積も大きく拡がりました。

S Aでの活動が認められ、農水省の平成29年度農山漁村女性活躍表彰「女性起業新規事業開拓部門」で優良賞をいたただくことが出来、励みになっています。

これからも赤城高原の特徴を生かして農産物を販売しながら、地元産を使つた野菜、果実のジュース、ソフトクリーム、レストランへの野菜の提供も続けていきます。仲間と供に楽しい旅の思い出が増えることを願いながら頑張ります。



北海道勇払郡厚真町  
窟田泰法(46期卒)

## 地震を乗り越え、北の大地の大型農業に挑む

私は、2年前に胆振東部地震で震度7を観測した厚真町出身です。被災當時においては全国の皆様からいろいろと支援をして頂き誠に有難うございました。

私の経営は、水稻を中心に秋小麦・大豆、緑肥作物といった輪作体系を組んで、20・4ha作付けしており、水稻は「ゆめぴりか」と「ななつぼし」の2品種を合せて14・8ha、秋小麦1・7ha、大豆1・5ha、緑肥2・4haを妻と父と3人で営んでいます。2年前、私も経験したことがない地

震が発生し、発生当日から地元の消防団に所属していたため、町内の被害状況調査や行方不明者の捜索に1週間出動していました。自分の農地、農業用機械や施設の被害状況を確認することが出来たのはその後になりました。町内の被害状況は土砂崩れにより、建物が崩壊し、農地に土砂混入、地割れ、起伏により、収穫寸前の作物の収穫が出来ない状況になってしましました。

幸いにも自分の農地は、土砂混入、地割れ、起伏等の被害、農業用機械や乾燥機には被害が無く、無事、作物の収穫が出来たのでホットはしましたが、自宅は全壊し、作業場の一部が前日の台風21号により破損して、水稻の苗箱が崩れてしましました。消防団の出動1週間後から苗箱の片付けをし、稲刈り後は台風で破損した作業場を父と2人で修繕しました。

震災から2年が経ち、町も復旧作業が進み、少しづつではありますがあ、元の姿に戻つてきています。被害があつた農地も復元され、年々、作付けできる面積が増えてきていますが、未だ復元中の農地、土砂の堆積場や砂防ダム建設によつて農地が無くなっているのが現状です。

自分の田んぼも年々地震の影響で水落し口周辺の畦に穴があき、水が流水したり、水落し口の暗渠パイプの根元が切れているといった状況が増えており、修繕しながら頑張っています。

厚真町の農業人口も高齢者が多く、後継者も1ターン、Uターンで戻つ



てきている農家もありますが、とにかく震災後は亡くなつた方の農地や、高齢で離農された農地が増え、個々の経営面積が増えているのが現状です。私の住んでいる集落も後継者のいない方が多いため、経営面積も増えています。

家族経営のため、人手不足もあり、規模拡大にも限界がありますが、周囲の農地を守つていくためにも不足部分を補うため、今後、自動操作のトラクター・田植機・コンバインでの作業やドローンを活用した防除体制、また、水稻の直播栽培や密苗等といった栽培技術などを導入していく必要があります。これらのことを行つて実施することで、規模拡大が可能になっていくと思います。

最後に卒業生、現役の皆さん、一度厚真町に来て、被災地の現状と自分が頑張っている姿を見てもらいたいです。農業情勢も厳しい部分がありますが、消費者の皆さんにいつまでも美味しい作物を提供できるように自分も頑張つていきたいと思います。

学園卒業後すぐに就農し、市場出荷を中心のキャベツ生産や、JA直売所でアスパラガス等の販売を行つていましたが、キャベツの市場価格の低下や出荷時の人出不足等の問題が出てきました。

限られた農地を有効に利用し、安定した収入を得るためにはどうすればいいかを考える中、先輩農家が、農業体験農園を運営していました。農業体験農園は「初心者でも高品質の野菜を収穫できる」がコンセプトで、年間30品目の栽培を行います。

農家が作付計画、講習日程を決め、種子や肥料、農機具を用意し、利用者は手ぶらで来られる農園です。区画は1区画・30平方メートルで、年間利用料は5万円です。

区画利用料金が毎年安定して得られるところで経営が安定しました。普段行つてゐる作業について、資料を用意し、講習をするのですが、伝え方によつて利用者の理解が変わり、毎回反省させられました。

農園を初めて12年、現在82区画での経営ですが、今年のコロナ禍の中で、生活様式が見直される中、農園を利用

## 都内で体験農園に特化した経営展開



東京都練馬区  
富岡忠明(44期卒)

# 地域を拓く鯉学卒業生の活躍紹介

活躍紹介

したいと多くのお話を受け、来年度増設に向けて調整中です。現在は体験農園での経験を生かし、落花生や玉葱の収穫体験や近隣小・中学校生の農業体験を受け入れています。

農業経験がほとんどない子供達や多くの区民と触れ合う中で、自給率や都市部の生産緑地などの問題をお話しして、一人でも多くの皆様に農業を感じてもらえるように、今後も活動を行いたいと思っています。

平成11年「男女共同参画基本法」が制定されたのに伴い、普及活動の一環として、まずは農業経営における女性の役割を適正に評価する「家族経営協定の締結」を推進しました。

男女平等とは名ばかりの地域で夫と妻が我が家家の経営取扱状況を把握し、妻の給料制、農休日の設定、家事分担等を何度も話し合ってきました。結果、女性が社会進出しやすい環境づくりにおおいに役立つようになりました。



沖縄県宮古島市  
宮平エミ(20期卒)

## 宮古で耕す男女参画

度増設に向けて調整中です。現在は体験農園での経験を生かし、落花生や玉葱の収穫体験や近隣小・中学校生の農業体験を受け入れています。

農業経験がほとんどない子供達や多くの区民と触れ合う中で、自給率や都市部の生産緑地などの問題をお話しして、一人でも多くの皆様に農業を感じてもらえるように、今後も活動を行いたいと思っています。

平成14年、宮古に転勤後、急速に組織目標として「女性自身の意識向上と地域の方針決定の場への参画促進」を掲げて農漁村地域で活動している生活研究会・JA女性部、たばこ耕作組合女性部、和牛改良女性部、漁協女性部の5組織で結成されていた「宮古地区農漁村女性組織連絡協議会」と一丸となり、当時は5市町村長並びに議会議長へ女性登用の要請活動を再三行いました。

その成果が現れ、ゼロから一気に7名の女性農業委員が誕生しました。当時「宮古の農漁村に新しい風が吹いた!」と大々的に報道され、皆で喜び合ったことが鮮明に残っています。

しかし、宮古島の農業委員は現在17名で、内女性は1名のみとなっています。生産活動の現場にいる50%以上が女性です。家庭や地域が活性化するために、女性が先導的役割を果たし、本当の意味での女性が輝く男女共同参画社会になつて欲しいと願っています。

今、新型コロナ感染症の終息が見えないだけでなく、台風、水害、地震等の自然災害の影響を受け、特に家族経営で命を守る農林水産業は時代にあつた仕事のやり方や工夫で「ピンチをチャンスに」「流れに棹さす人となれ」でアイデアを出し合い、「今日も笑顔で!」乗り切つて欲しいと願っています。

平成12年沖縄本島の中部普及センターに勤務していたとき、農業振興地域である宮古地区だけに女性の農業委員がいないと指摘されました。

平成14年沖縄本島の中部普及センターに勤務していたとき、農業振興地域である宮古地区だけに女性の農業委員がいないと指摘されました。

平成12年沖縄本島の中部普及センターに勤務していたとき、農業振興地域である宮古地区だけに女性の農業委員がいないと指摘されました。

昭和25年に宮城県職員となり、宮城県小牛田農業事務所勤務、平成2年3月技術参事兼農産課長で退職しました。県職員在籍39年、内28年間農業改良普及員として勤務。6年間を普及主務課で農業経営係として勤務したので、県職員としての大半を農業改良普及活動に努めました。

昭和37年鯉淵学園通信教育第1期生として受講しました。農業経済に強く関心を持たされ、続いて行われた大学留学研修で農業経済を選ばせて頂きました。農業経済を学んだことは仕事は勿論私の人生にとっても、視野を広げさせて頂きました。



奥田勝己受章



宮城県遠田郡美里町  
本間省吾(通信教育第1期卒)

## 高齢者叙勳瑞宝双光章受章

### 令和元年度 高齢者叙勳瑞宝双光章受章者 ご紹介



愛知県名古屋市  
奥田勝己(7期卒)

## 高齢者叙勳瑞宝双光章受章

## 書籍発行のご紹介



J Aへの実践的な提案の書  
『これからのJ A強化書』

「未来志向の組織づくりのヒント」



東京都八王子市  
A・ライフ・デザイン  
研究所・代表

伊藤喜代次

(26期卒)

JAへの実践的な提案の書  
『これからのJ A強化書』  
提言した。



2019年、家の光協会・刊

全国のJAに即戦力となる人材を送り込んでいた協同組合学科が、鯉淵学園から中央協同組合学園に移管されたのは1970年、ちょうど50年前。当時の鞍田純学園長、宮島三男教授には、その後も長くお付合いいただいた。お二人の農業協同組合への熱く強い思いと、真摯に学究に向き合う姿勢を学ばせていただいたし、頭の片隅から離れたことはない。

この半世紀、JAは合併によって組織が拡大、事業量も経営も飛躍的に増大した。だが、地域の農業や農業経営者の組織としての使命をどう果たすべきか。旧態依然の事業推進の転換、職員教育や資質向上策、経営の健全性の確保、時代・変化への適応など、すぐに実行すべき施策と術は数多い。どう判断し、実践するかだ。40年間、民間企業や行政機関などの調査・コンサルティングを通じて、即実践活用できるビジュアルデータを用いて、JAの事業・経営の強化策を提言した。

## 第34回 鯉淵学園同窓会大会結果報告

令和元年11月30日、JR東京駅八重洲口TKRセントラルカンファレンスセンターにおいて開催されました。

当日は、農民教育協会の、海老澤常務理事兼事務局長、島崎学園長、長谷川副学園長の出席を頂き、各県の支部からは、北海道、岩手、宮城、新潟、福井、岡山、徳島、高知、宮崎、沖縄から支部長並びに支部長代理が出席しました。本部役員、代議員を含め、31名の出席となりました。

大会の総会前に島崎学園長から「鯉淵学園の現状と近未来への展望 新しい学校運営の取り組み」と題して記念講演を頂きました。74年の伝統ある鯉淵学園を新しい学園に生まれ変わらせるための運営方針について、直に拝聴できる絶好の機会となり、改めて学園教育の最高責任者としての力強い意気込みを理解することができました。

総会は、沖縄県支部長の前田実氏(30期卒)の議長進行のもとに、提案された全議案は原案通り可決承認されました。

【提案議案】

第1号議案 平成30年度～令和3年度事業計画並びに收支予算(案)について

第2号議案 令和2年度～令和3年度事業計画並びに收支決算について

公益財団法人農民教育協会 同窓会代表理事 黒澤賢治(群馬県25期卒) 若林英一(栃木県25期卒)



第3号議案 令和2年度～令和3年度の役員選任について  
選任された次期新役員は次の通りです。

顧問	監事	常任委員	副会長	会長
藤村義美(23期卒)	西村勝夫(茨城県22期卒)	黒澤賢治(群馬県25期卒)	西村勝夫(茨城県22期卒)	西村勝夫(茨城県22期卒)
岩手県賢誠(25期卒)	若林英一(栃木県25期卒)	若林英一(栃木県25期卒)	黒澤賢治(群馬県25期卒)	黒澤賢治(群馬県25期卒)
宮城県雅司(24期卒)	椿辻五十嵐竹男(栃木県25期卒)	椿辻五十嵐竹男(栃木県25期卒)	椿辻五十嵐竹男(栃木県25期卒)	椿辻五十嵐竹男(栃木県25期卒)
秋田県長橋雅司(24期卒)	志村芳次(茨城県19期卒)	志村芳次(茨城県19期卒)	志村芳次(茨城県19期卒)	志村芳次(茨城県19期卒)
山形県誠二(24期卒)	ト部泰郎(千葉県19期卒)	ト部泰郎(千葉県19期卒)	ト部泰郎(千葉県19期卒)	ト部泰郎(千葉県19期卒)
福島県由春(25期卒)	新関八千代(静岡県23期卒)	新関八千代(静岡県23期卒)	新関八千代(静岡県23期卒)	新関八千代(静岡県23期卒)
新潟県芳次(24期卒)	牛山喜文(長野県23期卒)	牛山喜文(長野県23期卒)	牛山喜文(長野県23期卒)	牛山喜文(長野県23期卒)
福井県雅(24期卒)	五十嵐竹男(福島県23期卒)	五十嵐竹男(福島県23期卒)	五十嵐竹男(福島県23期卒)	五十嵐竹男(福島県23期卒)
石川県由(24期卒)	江幡ゆき子(茨城県23期卒)	江幡ゆき子(茨城県23期卒)	江幡ゆき子(茨城県23期卒)	江幡ゆき子(茨城県23期卒)
富山県清川完司(埼玉県24期卒)	清川完司(埼玉県24期卒)	清川完司(埼玉県24期卒)	清川完司(埼玉県24期卒)	清川完司(埼玉県24期卒)
新潟県千葉(24期卒)	五十嵐竹男(茨城県26期卒)	五十嵐竹男(茨城県26期卒)	五十嵐竹男(茨城県26期卒)	五十嵐竹男(茨城県26期卒)
福井県新潟(24期卒)	椿辻五十嵐(茨城県33期卒)	椿辻五十嵐(茨城県33期卒)	椿辻五十嵐(茨城県33期卒)	椿辻五十嵐(茨城県33期卒)
群馬県千葉(24期卒)	志村芳次(茨城県34期卒)	志村芳次(茨城県34期卒)	志村芳次(茨城県34期卒)	志村芳次(茨城県34期卒)
栃木県新潟(24期卒)	新関八千代(東京都44期卒)	新関八千代(東京都44期卒)	新関八千代(東京都44期卒)	新関八千代(東京都44期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(東京都46期卒)	正治仁(東京都46期卒)	正治仁(東京都46期卒)	正治仁(東京都46期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(栃木県34期卒)	正治仁(栃木県34期卒)	正治仁(栃木県34期卒)	正治仁(栃木県34期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県33期卒)	正治仁(茨城県33期卒)	正治仁(茨城県33期卒)	正治仁(茨城県33期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県34期卒)	正治仁(茨城県34期卒)	正治仁(茨城県34期卒)	正治仁(茨城県34期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県35期卒)	正治仁(茨城県35期卒)	正治仁(茨城県35期卒)	正治仁(茨城県35期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県36期卒)	正治仁(茨城県36期卒)	正治仁(茨城県36期卒)	正治仁(茨城県36期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県37期卒)	正治仁(茨城県37期卒)	正治仁(茨城県37期卒)	正治仁(茨城県37期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県38期卒)	正治仁(茨城県38期卒)	正治仁(茨城県38期卒)	正治仁(茨城県38期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県39期卒)	正治仁(茨城県39期卒)	正治仁(茨城県39期卒)	正治仁(茨城県39期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県40期卒)	正治仁(茨城県40期卒)	正治仁(茨城県40期卒)	正治仁(茨城県40期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県41期卒)	正治仁(茨城県41期卒)	正治仁(茨城県41期卒)	正治仁(茨城県41期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県42期卒)	正治仁(茨城県42期卒)	正治仁(茨城県42期卒)	正治仁(茨城県42期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県43期卒)	正治仁(茨城県43期卒)	正治仁(茨城県43期卒)	正治仁(茨城県43期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県44期卒)	正治仁(茨城県44期卒)	正治仁(茨城県44期卒)	正治仁(茨城県44期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県45期卒)	正治仁(茨城県45期卒)	正治仁(茨城県45期卒)	正治仁(茨城県45期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県46期卒)	正治仁(茨城県46期卒)	正治仁(茨城県46期卒)	正治仁(茨城県46期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県47期卒)	正治仁(茨城県47期卒)	正治仁(茨城県47期卒)	正治仁(茨城県47期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県48期卒)	正治仁(茨城県48期卒)	正治仁(茨城県48期卒)	正治仁(茨城県48期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県49期卒)	正治仁(茨城県49期卒)	正治仁(茨城県49期卒)	正治仁(茨城県49期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県50期卒)	正治仁(茨城県50期卒)	正治仁(茨城県50期卒)	正治仁(茨城県50期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県51期卒)	正治仁(茨城県51期卒)	正治仁(茨城県51期卒)	正治仁(茨城県51期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県52期卒)	正治仁(茨城県52期卒)	正治仁(茨城県52期卒)	正治仁(茨城県52期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県53期卒)	正治仁(茨城県53期卒)	正治仁(茨城県53期卒)	正治仁(茨城県53期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県54期卒)	正治仁(茨城県54期卒)	正治仁(茨城県54期卒)	正治仁(茨城県54期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県55期卒)	正治仁(茨城県55期卒)	正治仁(茨城県55期卒)	正治仁(茨城県55期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県56期卒)	正治仁(茨城県56期卒)	正治仁(茨城県56期卒)	正治仁(茨城県56期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県57期卒)	正治仁(茨城県57期卒)	正治仁(茨城県57期卒)	正治仁(茨城県57期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県58期卒)	正治仁(茨城県58期卒)	正治仁(茨城県58期卒)	正治仁(茨城県58期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県59期卒)	正治仁(茨城県59期卒)	正治仁(茨城県59期卒)	正治仁(茨城県59期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県60期卒)	正治仁(茨城県60期卒)	正治仁(茨城県60期卒)	正治仁(茨城県60期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県61期卒)	正治仁(茨城県61期卒)	正治仁(茨城県61期卒)	正治仁(茨城県61期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県62期卒)	正治仁(茨城県62期卒)	正治仁(茨城県62期卒)	正治仁(茨城県62期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県63期卒)	正治仁(茨城県63期卒)	正治仁(茨城県63期卒)	正治仁(茨城県63期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県64期卒)	正治仁(茨城県64期卒)	正治仁(茨城県64期卒)	正治仁(茨城県64期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県65期卒)	正治仁(茨城県65期卒)	正治仁(茨城県65期卒)	正治仁(茨城県65期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県66期卒)	正治仁(茨城県66期卒)	正治仁(茨城県66期卒)	正治仁(茨城県66期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県67期卒)	正治仁(茨城県67期卒)	正治仁(茨城県67期卒)	正治仁(茨城県67期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県68期卒)	正治仁(茨城県68期卒)	正治仁(茨城県68期卒)	正治仁(茨城県68期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県69期卒)	正治仁(茨城県69期卒)	正治仁(茨城県69期卒)	正治仁(茨城県69期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県70期卒)	正治仁(茨城県70期卒)	正治仁(茨城県70期卒)	正治仁(茨城県70期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県71期卒)	正治仁(茨城県71期卒)	正治仁(茨城県71期卒)	正治仁(茨城県71期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県72期卒)	正治仁(茨城県72期卒)	正治仁(茨城県72期卒)	正治仁(茨城県72期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県73期卒)	正治仁(茨城県73期卒)	正治仁(茨城県73期卒)	正治仁(茨城県73期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県74期卒)	正治仁(茨城県74期卒)	正治仁(茨城県74期卒)	正治仁(茨城県74期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県75期卒)	正治仁(茨城県75期卒)	正治仁(茨城県75期卒)	正治仁(茨城県75期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県76期卒)	正治仁(茨城県76期卒)	正治仁(茨城県76期卒)	正治仁(茨城県76期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県77期卒)	正治仁(茨城県77期卒)	正治仁(茨城県77期卒)	正治仁(茨城県77期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県78期卒)	正治仁(茨城県78期卒)	正治仁(茨城県78期卒)	正治仁(茨城県78期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県79期卒)	正治仁(茨城県79期卒)	正治仁(茨城県79期卒)	正治仁(茨城県79期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県80期卒)	正治仁(茨城県80期卒)	正治仁(茨城県80期卒)	正治仁(茨城県80期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県81期卒)	正治仁(茨城県81期卒)	正治仁(茨城県81期卒)	正治仁(茨城県81期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県82期卒)	正治仁(茨城県82期卒)	正治仁(茨城県82期卒)	正治仁(茨城県82期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県83期卒)	正治仁(茨城県83期卒)	正治仁(茨城県83期卒)	正治仁(茨城県83期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県84期卒)	正治仁(茨城県84期卒)	正治仁(茨城県84期卒)	正治仁(茨城県84期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県85期卒)	正治仁(茨城県85期卒)	正治仁(茨城県85期卒)	正治仁(茨城県85期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県86期卒)	正治仁(茨城県86期卒)	正治仁(茨城県86期卒)	正治仁(茨城県86期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県87期卒)	正治仁(茨城県87期卒)	正治仁(茨城県87期卒)	正治仁(茨城県87期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県88期卒)	正治仁(茨城県88期卒)	正治仁(茨城県88期卒)	正治仁(茨城県88期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県89期卒)	正治仁(茨城県89期卒)	正治仁(茨城県89期卒)	正治仁(茨城県89期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県90期卒)	正治仁(茨城県90期卒)	正治仁(茨城県90期卒)	正治仁(茨城県90期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県91期卒)	正治仁(茨城県91期卒)	正治仁(茨城県91期卒)	正治仁(茨城県91期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県92期卒)	正治仁(茨城県92期卒)	正治仁(茨城県92期卒)	正治仁(茨城県92期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県93期卒)	正治仁(茨城県93期卒)	正治仁(茨城県93期卒)	正治仁(茨城県93期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県94期卒)	正治仁(茨城県94期卒)	正治仁(茨城県94期卒)	正治仁(茨城県94期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県95期卒)	正治仁(茨城県95期卒)	正治仁(茨城県95期卒)	正治仁(茨城県95期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県96期卒)	正治仁(茨城県96期卒)	正治仁(茨城県96期卒)	正治仁(茨城県96期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県97期卒)	正治仁(茨城県97期卒)	正治仁(茨城県97期卒)	正治仁(茨城県97期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県98期卒)	正治仁(茨城県98期卒)	正治仁(茨城県98期卒)	正治仁(茨城県98期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県99期卒)	正治仁(茨城県99期卒)	正治仁(茨城県99期卒)	正治仁(茨城県99期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県100期卒)	正治仁(茨城県100期卒)	正治仁(茨城県100期卒)	正治仁(茨城県100期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県101期卒)	正治仁(茨城県101期卒)	正治仁(茨城県101期卒)	正治仁(茨城県101期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県102期卒)	正治仁(茨城県102期卒)	正治仁(茨城県102期卒)	正治仁(茨城県102期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県103期卒)	正治仁(茨城県103期卒)	正治仁(茨城県103期卒)	正治仁(茨城県103期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県104期卒)	正治仁(茨城県104期卒)	正治仁(茨城県104期卒)	正治仁(茨城県104期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県105期卒)	正治仁(茨城県105期卒)	正治仁(茨城県105期卒)	正治仁(茨城県105期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県106期卒)	正治仁(茨城県106期卒)	正治仁(茨城県106期卒)	正治仁(茨城県106期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県107期卒)	正治仁(茨城県107期卒)	正治仁(茨城県107期卒)	正治仁(茨城県107期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県108期卒)	正治仁(茨城県108期卒)	正治仁(茨城県108期卒)	正治仁(茨城県108期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県109期卒)	正治仁(茨城県109期卒)	正治仁(茨城県109期卒)	正治仁(茨城県109期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県110期卒)	正治仁(茨城県110期卒)	正治仁(茨城県110期卒)	正治仁(茨城県110期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県111期卒)	正治仁(茨城県111期卒)	正治仁(茨城県111期卒)	正治仁(茨城県111期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県112期卒)	正治仁(茨城県112期卒)	正治仁(茨城県112期卒)	正治仁(茨城県112期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県113期卒)	正治仁(茨城県113期卒)	正治仁(茨城県113期卒)	正治仁(茨城県113期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県114期卒)	正治仁(茨城県114期卒)	正治仁(茨城県114期卒)	正治仁(茨城県114期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県115期卒)	正治仁(茨城県115期卒)	正治仁(茨城県115期卒)	正治仁(茨城県115期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県116期卒)	正治仁(茨城県116期卒)	正治仁(茨城県116期卒)	正治仁(茨城県116期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県117期卒)	正治仁(茨城県117期卒)	正治仁(茨城県117期卒)	正治仁(茨城県117期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県118期卒)	正治仁(茨城県118期卒)	正治仁(茨城県118期卒)	正治仁(茨城県118期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県119期卒)	正治仁(茨城県119期卒)	正治仁(茨城県119期卒)	正治仁(茨城県119期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県120期卒)	正治仁(茨城県120期卒)	正治仁(茨城県120期卒)	正治仁(茨城県120期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県121期卒)	正治仁(茨城県121期卒)	正治仁(茨城県121期卒)	正治仁(茨城県121期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県122期卒)	正治仁(茨城県122期卒)	正治仁(茨城県122期卒)	正治仁(茨城県122期卒)
栃木県新潟(24期卒)	正治仁(茨城県123期卒)	正治仁(茨城県123期卒)	正治仁(茨城県123期卒)	正治仁

## 岩手県支部総会

## 四国地区同窓会

## 北海道支部総会

# 【 同窓会県支部・ブロックの活動紹介 】



支部会員14名のほかに、宮城県から1名の参加がありました。

第1号議案から第3号議案まで、原案通り承認され、次回は北上地区で開催することに決定しました。

総会終了後、同窓会事務局の江幡員から、学園の新体制、学生の入学状況、同窓会の現状等の報告があり、学生募集や同窓会への会費・寄付金等の協力依頼がありました。

岩手県支部は、毎年総会を開催し、地区ごとの運営もうまく機能していますが、参加者が卒期10期代から20期代で、若い会員の参加が少ないことが課題となっています。

（文責・同窓会事務局 江幡ゆき子）



道内で活躍する会員は、農業経営者・J.A.職員・普及センター職員・試験研究者など多様です。当日は若い会員も多く参加し、なごやかにまた活気に満ちた総会でした。

（文責・同窓会 九石 裕）

令和元年11月9日・10日に、

岩手県遠野市土淵町の「たかむら水光園」で、令和元年度岩手県支部総会が開催されました。

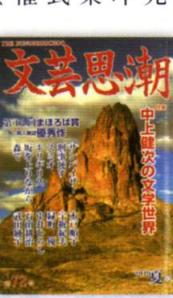
支部会員14名のほかに、宮城県から1名の参加がありました。

第1号議案から第3号議案まで、原案通り承認され、次回は北上地区で開催することに決定しました。

令和元年11月23日・24日に、札幌市内ホテルにて、北海道支部総会が3年ぶりに開催され、支部会員22名の参加がありました。

近年、北海道においても自然災害に襲われることが例外ではなくなりました。特に、昨年9月には胆振東部地震が発生し、当日出席会員の中にも家屋の半壊・全壊の大きな被害を受けた方がおられました。

道内で活躍する会員は、農業経営者・J.A.職員・普及センター職員・試験研究者など多様です。当日は若い会員も多く参加し、なごやかにまた活気に満ちた総会でした。



アジア文化社文芸思潮



北海道勇払郡むかわ町  
中井 弘  
(23期卒)

全国同人雑誌最優秀賞  
「まほろば賞」を受賞して

四国地区同窓会は、隔年で四国4県持ち回りで開催されており、今回は令和元年11月16日・17日にかけて、徳島市内のホテルで開催されました。

今回も、4月からの学園新体制のもと、国際農業コースの開講などの改革があり、関心が高まりました。

参加者は各県支部の支部長等役員を中心でしたが、情報交換と懇親を深めました。

（文責・同窓会 九石 裕）

皆さんお元気ですか。昨年9月13日東京での授賞式後、新潟開催の23期同期会で大変お世話になり、賞を祝っていただきました。第13回全国同人雑誌最優秀賞受賞作「キリギリス」は2000作品の中から優秀賞に選ばれ、審査員5名初の満票でまほろば賞を受賞。私にとって奇跡の2019年となりました。作品は全盲になつた主人公キヨが幾多の試練の末に、私の故郷美瑛で最期を迎えるとしますが、それでも尚一縷の望みを抱き生きています。それは亡くなつた息子の声にそつくりな少年に再び会いたいとの願いであります。震災、自然災害、新型コロナウイルスと経験したことのない閉塞感があり、不自由です。多くの方に作品を読んでいただきました。キヨは逆境の中で何度も死のうとし生きることを決意します。希望を心に必ず皆さんの願いも叶うことを祈っています。

作品はアジア文化社文芸思潮出版部（電03-1570617847）か、中井弘（090-1837317537）に。

19期～23期生

## 卒期別 活動の取り組み

翌日は、即帰路の他、島、佐多島、宮崎、長崎など九州観光指宿温泉、屋久島、佐多島、宮崎、長崎など九州観光もして頂きました。出席た。出席頂いた全国会員の皆様、ご支援頂いた九州在住実行委員の皆様、ござい

ました。次回は秋田県です。元気で再会しよう。



19名は返信なし（実際は物故？）卒業後55年経過し、長寿域に達した老人たちが学生時代や現役勤務時代の話に花を咲かせ、時を忘れる一夜となりました。

19  
期生

同期会IN鹿児島大会

20  
期生

同期会

23  
期生

北陸・新潟大会の盛会に感謝

令和元年10月20日、

新潟県新発田市月岡温泉

から沖縄の

全国の仲間

68名が集

まつてくれ

ました。偏

に実行委員

皆さんとの全

面的なご協

力のお陰と

感謝してお

ります。

卒業して

初めて大会

に参加したとい

う仲間もいましたが、旅

の疲れも忘れ、アットいう間に50数年前

にタイムスリップし、ホテルのロビーで

手を握り合い、元気を確かめ合う場面も

所々に見られ、和やかな雰囲気でした。

夕食・懇親会は、古希を過ぎたと思

えない元気さで夜を徹して盛大に行われ

ました。

大会二日目は、朝から弥彦神社の参

拝やJJA農産物直売所、北方博物館視察

でしたが、歩くのは無理と言っていた人

が先頭になつて張り切っていました。

さすがに一日目の夜は、昼間の疲れ

が出たのか二次会もない静かな夕食会で

しました。

三日目の朝、二年後に静岡での再会

を約束し、それぞれが家路に向かって旅

立ちました。

(文責・新潟県 重野徳夫)



令和元年10月16日～18日にかけて、卒業以来10回目の同期会を東京で開催しました。

一昨年の伊勢志摩同期会に続いての開催でしたが、

台風19号の豪雨により、川の氾濫等交通手段に問題が生じ、直前でやむを得ず欠席の方もおり、ご夫婦での参加を含めて19名の参加でした。

2日目は東京スカイツリー、浅草寺、葛飾柴又の帝釈天（寅さん記念館）等を見学して帰宿の後、懇親会を行いました。（18名の物故者に黙祷等）

3日目は赤穂浪士が眠る泉岳寺（赤穂浪士記念館）から皇居に回り、皇居周辺で昼食の後、東京駅で解散。

卒業から年月を経た今、後期高齢者の我々であり、次の同期会をどうするか！の話題の時、新潟幹事から手が上がり（次は俺がやる）との発声で2年後の新潟開催が決定しました。

それぞれが健康に留意して、2年後に笑顔で新潟の地を踏み、幹事の十八番、「新潟ブルース」を是非聴きたい、等の声を残しながら東京駅を背に帰宅の途につけた次第です。

(文責・埼玉県 高橋忠彦)



令和元年11月4日～6日の2泊3日にわたり東京観光を行いました。会場は東京両国駅前の「両国ビューホテル」に全国の同期生25名（男性17名・女性8名）が集いました。

第一日日夜の懇親会は、学園の思い出話や近況報告等で大いに盛り上りました。

第二日は、大型バスにて東京スカイツリーとソラマチの散策、浅草寺参拝、水上クルーザーで浅草からお台場海浜公園までの水上観光、江戸東京博物館を見学。夜は相撲茶屋にて懇親会と続きました。

第三日目は、朝食後に解散となり次回は茨城県での再会を誓い、散会しました。今回の幹事は、東京の横尾保幸氏、新潟の保坂精一氏、群馬の田村利久氏、新潟の角山優子さんが担当いたしました。

(文責・同窓会事務局)



令和元年11月11日、鹿児島サンロイヤルホテルで「あれから（卒業）55年」として、会員29名、同伴者13名の計42名で開催しました。卒業生102名、物故者14名、残り88名に年賀を兼ねた概要案内、転居先（生息不明）4名を確認し、84名に大会案内を送り、31名出席（途中キャンセルあり）、34名の欠席の返信、19名は返信なし（実際は物故？）

卒業後55年経過し、長寿域に達した老人たちが学生時代や現役勤務時代の話を花を咲かせ、時を忘れる一夜となりました。

(文責・鹿児島県 溝口道寛)

# 写真で辿る鯉淵学園創立記念事業の足跡

## 学園創立 10 周年記念事業（昭和 30 年 11 月）

- ①実施主体：農民教育協会・鯉淵学園  
・同窓会・茨城県
- ②記念図書館の建設・農村文化センター付設
- ③育英貸与制度創設  
鯉淵学園奨学会設立 基金 82 万円
- ④農業機械化教育施設設備
- ⑤募金額 448 万円／募金人数 994 名



図書館（現・学生ホール）

## 学園創立 20 周年記念事業

- ①実施主体：農民教育協会・鯉淵学園  
・同窓会・茨城県・国庫補助
- ②記念会館建設  
(現・1号教室棟)
- ③鯉淵学園  
20 年史出版
- ④募金額  
1,256 万円募金  
募金人数 1,007 名



現・1号教室棟

## 学園創立 30 周年記念事業

- ①実施主体：同窓会単独
- ②同窓会館建設
- ③募金額 1,917 万円  
募金人数 1,542 名



同窓会館

## 「鯉淵学園の沿革」

昭和 20 年 11 月に、戦後の農村社会における有為な人材養成を目指して鯉淵学園創立の礎となった「全国農業会高等農事講習所」が設立され、昭和 23 年 8 月まで農業教育指導が継続された。

その後、財団法人農民教育協会に引き継がれ、昭和 26 年には正式に「鯉淵学園」に名称変更し、平成 17 年には「鯉淵学園農業栄養専門学校」に改名した。

## 「記念事業の趣旨」

新時代に即応できる農業・農村の人材育成を推進するため、農民教育協会・学園・同窓会が一体となって創立 10 周年記念事業を契機に、10 年毎に学園教育施設整備を中心とした記念事業を協同で実施してきました。

## 今蘇る 筑波嶺寮の思い出

昭和 40 年の春、私は鯉淵学園の筑波嶺寮に入寮しました。此處では学園精神と実践力を学ぶため、学生が自治会を運営していました。私は文化部の運営に感銘して部長になり、自分の苦手な面は先輩の指導と部員との総合力で乗り切った時、友と全寮制度の初歩を会得したと大きな喜びを得ました。

兄と姉の如き先輩を断腸の思いで見送つた後、後輩にも同じ感動を伝えるため、1 年間全力を出し切ったものでした。我々も第二の故郷たる鯉淵を後にした時は感謝して先輩以上の涙を垂れ流しました。

あれから時折、盟友の訃報に涙してきましたが、この度は、我が青春の主役であつた入寮時の舎長、文化部副部長、部員 2 人、秋田の悪友、更に純愛の女性の訃報が無情にも怒濤の如く押し寄せてきました。

いつしか半世紀も経ちましたが、青春は昨日の如く鮮明に我が心に蘇つてしまひます。



鳥取県境港市  
寺澤弘道(22期卒)

若き学園生活を  
振り返って

## 学園創立 50周年記念事業

- ①実施主体：農民教育協会  
・鯉淵学園・同窓会・国庫補助
- ②新図書館建設
- ③鯉淵学園50年史出版
- ④募金額 1,900万円  
募金人数 1,039名



## 学園創立 70周年記念事業(平成27年11月)

- ①実施主体：鯉淵学園・同窓会
- ②学生修学支援
- ③六次産業化教育支援
- ④卒業生活活動事例集発行
- ⑤学園史跡木碑建立 2基  
同窓会単独事業
- ⑥募金額 1,978万円  
(同窓会寄付500万円含む)  
募金人数 558名



## 学園創立 40周年記念事業

- ①実施主体：同窓会単独
- ②教室改修(旧図書館両翼の教室二棟)
- ③分収林造成 茨城県日立市
- ④鯉淵学園学生寮史出版
- ⑤募金額 1,183万円 募金人数 698名



## 学園創立 60周年記念事業

- ①実施主体：鯉淵学園・同窓会
- ②農産物直売所「農の詩」建設
- ③募金額 1,274万円  
募金人数 888名



## 会員名簿(増補版)を発刊します

鯉淵学園同窓会 会長 西村勝夫

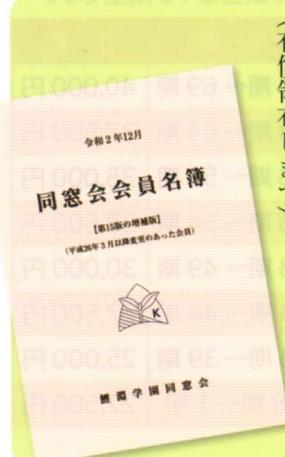
このたび、7年ぶりに会員名簿(増補版)を発刊することとなりました。さて、鯉淵学園は開園して今年で75年になりますが、同窓会員は5,914名在籍しており、地方自治体、JA、農業経営、福祉関係など、幅広い分野で活躍されています。

また、同窓会員も第20期以前の卒業生は、後期高齢者の年齢に達するなど、年々、年齢幅が拡大し、その時代時代で学園に対する想いも多種多様になっています。

特に全寮制だった時代に在籍していいた49期生までの同窓生は相互のきずなや学園に対する想いも強く、現在の各県支部活動のリーダーとして活躍を頂いているところです。

同窓会員名簿は全国各地で活躍する卒業生を結びつけ、お互いに励まし合い、連絡し合う情報交換の「アドレス」として活用できる性格を持っています。会員名簿発行に当たっては、今後とも個人情報保護法の規制の徹底、部外流出など取り扱いには慎重を期す事としました。

最後に、名簿発行において佐藤印刷株式会社には、多大なご尽力をいたしました事に厚くお礼申し上げます。(有償領布します)



## 情報提供のお願い

次の会員は住所不明になつております。

所在を把握されている方は、同窓会事務局にご一報願います。  
住所変更や姓名が変わった場合には、同窓会事務局までご連絡をお願いいたします。  
また同期の仲間の情報等もお寄せ願います。

通期 通期 通期 通期 通期 通期 通期 72期 71期 70期 70期 70期 69期 68期 66期 66期 66期 65期 65期  
5 3 3 3 2 1 1 1 期  
期  
山形 長野 大阪 北海道 長崎 島嶼 濁河 野瀬 葉山 京城 城城 城城 城城 城城 京城 野川 京庫 岡山 野中村 中村  
川本 本山 竹内 奥國 田中 白鳥 竹内 未萌 修也 未健 二誠 吾健 友美希 未大樹 未榮  
木杉 杉木 小松 松坂 宮原 松尾 海原 湯本 橋本 仲村 松戸 藤原 川上 飯村 須田 小宅 あけみ ひ香 綾花 緒菜 未  
木鈴 木鈴 木木 木木

同窓会の運営は、全国同窓会員からの会費及び寄付金によつて成り立つております。  
しかしながら会費未納者が多く、大変苦しい運営状況です。昨年は永年会費納入者24名、年会費120名、寄付金56名で、一部の会員の協力で運営している実情です。  
特に全国の会員に配布している同窓会報の発行には、毎回100万円余の多額の経

## 同窓会費納入のお願い

会費納入の低迷状況が継続すると、「これまで続いてきた同窓会報の発行が出来なくなり、同窓会の活動も大変困難になります。何卒、これが状況をご理解いただき、永年会費、年会費未納会員の方々の絶大なるご協力を心からお願い申し上げます。併せて大変ご無理なお願いであります  
が、寄付金（会報発行維持経費に充当）についても、ご支援を頂ければ幸いです。  
参考までに、卒期別の永年会費の納入状況は次のとおりです。

**納入者の多い卒期**

2期	3期	4期	23期	24期	25期
<b>納入者の少ない卒期</b>					
62期	63期	66期	68期	69期	71期

また、都道府県別の納入状況は次のとおりです。

**納入者の多い県**  
茨城県・長野県・栃木県・新潟県  
千葉県・北海道・福島県

今まで事務的に原稿執筆依頼や編集に携わってきたことが恥ずかしく、改めて同窓会報の意義を考えさせられました。会報が届くのを楽しみにしてくれる方がいます。学園の思い出や、今の状況など、是非寄稿をお願いいたします。

編集後記

今年は新型コロナウイルスの影響で、同窓会報の発行も危ぶまれておりましたが、こんな時だからこそ同窓会員に学園や同窓会の現状をお伝えしようということで、発行の運びとなりました。

私は、第89号から同窓会報の発行に携わってきましたが、原稿執筆を依頼しても喜ばれたことはあまり記憶にありませんでした。しかし、今回は学園時代をとても懐かしく、同窓生が結び付けてくれた縁を感じると、大変喜んで原稿を引き受けていただいた方がいました。

### 卒業期別永年会費納入表

令和2年3月の新卒業生は73期生です。

卒業後の経過年数	卒 期	金 額
新卒業生～5年	73期～69期	40,000円
6年～10年	68期～64期	37,500円
11年～15年	63期～59期	35,000円
16年～20年	58期～54期	32,500円
21年～25年	53期～49期	30,000円
26年～30年	48期～44期	27,500円
31年～35年	43期～39期	25,000円
36年以上	38期～1期	22,500円